

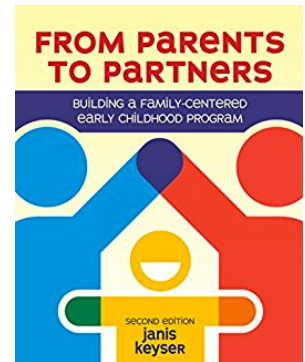
-- 家族連携 Research --

18.01.25-

文責：佐藤朝美



From Parents to Partners: Building a Family-Centered Early Childhood Program 2nd Edition, Kindle Edition
by Janis Keyser Publisher: Redleaf Press; 2 edition (May 15, 2017)



第2章：FIVE PRINCIPLES OF FAMILY-CENTERED CARE 家族中心のケアの5つの原則



- ・ 過去20年にわたり、児童育成の分野は家族を考える進化を遂げ、家族中心のケアのアイデアを得た。このモデルはもともと医学と特殊教育の分野で開発された。
- ・ 家族中心のケアは、次の前提に基づいている。
 - ・ すべての人々は基本的に良いです。
 - ・ すべての人に強みがある。
 - ・ すべての人々は、異なるが同じく重要な技能、能力、知識を持っている。
 - ・ すべての人々は支援と励ましが必要である。
 - ・ すべての家族は、子供たちに希望、夢、希望を持っている。
 - ・ 家族は多忙であるが、すべての家族が同等のリソースにアクセスすることはできない。
 - ・ 家族は彼らの尊厳と希望を維持するのに役立つ方法で援助を受けるべきである。
 - ・ 家族はサービスプロバイダーとの関係において平等なパートナーでなければならない。
(アイオワスク립トチーム2004)
- ・ これらの前提は、プログラムで家族中心のケアの原則をより深く理解するのに役立つ。
- ・ 教育者が両親や家族について信じるものは、パートナーシップの成功に影響を与える。
- ・ これらの前提がなければ、あなたの多くは、両親があなたに対抗して働いているか、または無知であると信じて、両親と不安を抱いている。
- ・ 親が良い、強く、巧みで、才能豊かで、平等であることを前提とすると、家族が自分たちの尊厳と希望を維持できるような方法で、容易に支援と励ましを提供することができる。
- ・ 紛争が発生したとき、家族が善良で力を持っていると信じれば、決断についてより多くの希望と自信をもてる。
- ・ 家族が子供たちに希望と夢を持っていることを理解したら、自然に教育目標設定に家族を含めることができる。
- ・ 家族にこの「強みに基づく」観点を統合すると、家族中心のケアを実施するのが自然だということがわかる。

Reflecting on Assumptions about Families 家族についての前提を反映する

- ・ あなたが不快で悪戦苦闘している家族について考える。
- ・ 前のリストの各仮定を見て、この家族についてもう一度考える。
- ・ この家族にすべての前提を適用することが困難な場合は、1つまたは2つを開始する。
- ・ これらの前提を使って、この家族のあなたの認識はどのように変化するか？
- ・ これを同僚や他の学生と話し合う。



PARENT EDUCATION AND PARENT INVOLVEMENT

親の教育と保護者の参加



- ・ 家族中心のケアは、親の教育や親の関与とどう違うか？
- ・ 幼児期の職業は子供に焦点を当て始め、親の教育を含むようになった。歴史的に、親の教育は、子どもが必要とすることについて教師が親よりもよく知っていることを前提とした一方通行のプロセスと定義されている。
- ・ 親が最も必要とするものは、児童育成や育児の専門家からの情報であると推定している。親の教育には、教育的な焦点を当てた親会議などのイベントが含まれる。書籍、記事、配布物を持つ親ライブラリ親会議親の訓練を行う。
- ・ 親の教育は家族中心のケアの非常に重要な要素だが、それだけでは親のインプットを促したり、親の専門知識を含むことはない。それは平等なパートナーシップを促進するものではない。
- ・ 家族中心のケアの一環としての親の教育には、家族が専門知識、スキル、リソース、そして子供への希望を持っているという視点が含まれている。また、親と提携して話題を決めたり、ゲストスピーカーを見つけたり、彼らの専門知識を他の家族と共有し、目標設定や保護者会に積極的に参加する。
- ・ 親教育から、職業は親の関与を含むように拡大された。私はこれを「私たちのルールに基づいて親に働かせる」と言う。親の教育と同様に、このような主に教師とプログラム主導の親の関与では、両親や家族はかなり受動的な参加者となる。例としては、学校のために親の仕事割り当てたり、親がアクティビティのために図形を切り取り、電話をかけたり、コットシートを洗ったりすることがある。しばしば両親は学校を支援するためにこれらの種類の仕事をすることを喜んでいるが、これは親と一緒に働く明確な試みであるが、親の関与のこの定義には依然として相互の相互パートナーシップは含まれていない (Galinsky and Weissbourd 1992)。
- ・ 家族中心のケアの一部である親の関与には、参加する方法を計画し決定する上での親の取り組みが含まれる。家族中心のケアでは、教師と家族は、より均等に、協力的に、包括的に一緒に参加する。



FAMILY-CENTERED CARE PRINCIPLES

家族中心のケアの原則



- ・ 家族中心のケアは、子供やその家族と一緒に働くことに対するホリスティックなアプローチである。
- ・ 家族中心のケアの具体的な原則は、さまざまな方法で実施することができる。家族中心のケアの原則は、放課後のプログラム、親協同組合（または「協同組合」）、親/幼児/幼児遊戯グループ、ヘッドスタート、家族の育児施設、センターベースのケア、または別の子開発プログラム。
- ・ 家族とのパートナーシップには、教室で教師の役割を果たす親が含まれている場合もあれば、家族の代表グループと保護者会を共同で行う場合もある。
- ・ 双方向コミュニケーションは、教師や家族が共有するインタラクティブジャーナル（ハードコピーや電子形式）で行われる場合もあれば、子供が近くで遊んでいるときに電子メールや教室のフロアで行うこともできる。
- ・ 家族中心のケアプログラムはお互いに非常に異なって見える可能性がある。
- ・ 家族中心の介護プログラムの特徴は、5つの原則すべてが整備されることである。
- ・ 最初の章のものを覚えていますか？
- ・ 家族中心のケアでは、家族と教師は、以下によってパートナーシップを構築する。
 - 互いの知識と専門知識を認識し尊重する
 - 双方向コミュニケーションを通じて情報を共有する。
 - パワーと意思決定を分かち合う。
 - 多様性を認め、尊重する。
 - 支援のネットワークを構築する
- ・ 家族中心のケアの5つの原則を深く見てみると、それぞれの原則が他のすべてのものと一緒に関連している。家族の知識と専門知識を尊重し、真の相互のパートナーシップを構築するには、多様性を認識することが不可欠。双方向のコミュニケーションは、パワーと意思決定を分担する上で不可欠であり、ネットワークを構築するための第一歩である。
- ・ 原則にもっと身近になればなるほど、相互関係はより明確になる。
- ・ この章では、家族中心のケアの5つの原則を深く見ていく。



RECOGNIZING AND RESPECTING ONE ANOTHER'S KNOWLEDGE AND EXPERTISE

もう1つの知識と専門知識を認識して回答する



- ・ 家族や教師はそれぞれ独自の専門知識と経験をパートナーシップにもたらす。効果的なパートナーシップを構築するには、各人の知識を認識し尊重することが不可欠である。親は、子供や家族についての知識を、時間の経過とともに、さまざまな状況で教育者に提供することができる (Moll et al. 1992; González et al. 1995)。
- ・ 親は子供たちに言語、技術、価値観、アイデアを教える。親は子供の安全、権利、教育を主張する。家族は子供のための教育環境を選択する。一部の家族は、子どもの成長と発達における役割の重要性を認識しているが、そうでない家族もいる。
- ・ 教師は、児童育成のための教育と訓練を受けている。また、グループで子供と一緒に働く経験もある。
- ・ 教師と家族のパートナーシップは、親と教師が有能で自信を持って尊重されていると感じる場合にのみ有効である。この種の関係において、家族はエンパワメント、自信の感覚、そして自分の役割の妥当性についての明快さを体験する。ここでのエンパワメントは、両親が他の人よりも力を持つことを意味するものではない。代わりに、それは親としての仕事における自信と効果の成長感を指す。

Parent Expertise

親の専門知識

- ・ 家族は子供について何を知っているか？
- ・ 家族が子供について知っているかもしれないすべての情報のリストを作成する。
- ・ 家族はこの情報のどれくらいあなたと共有しているか？
- ・ 家族にこの重要な情報をあなたと共有するように他のシステムを実装することはできるか？
- ・ 「親の知識と専門知識」のセクションのリストを見て、あなたのリストと比較する。



Parent Knowledge and Expertise

親の知識と専門知識



- ・ 多くの場合、教師も家族も、家族がパートナーシップにもたらす専門知識を認識しない。
- ・ 家族の中には、彼らの子供の教育において果たす重要な役割についての知識と一緒に、エンパワメントの強い感覚であなたのプログラムに来る者もいる。いっぽうで、個人的、家族的、または文化的背景のために、親として教師と平等なパートナーであると自信を持って感じることはできない場合もある。これらの親の中には、介護者の知識や専門知識と比較して、彼らが子供に関する知識が不足していると感じる人もいる。あるいは、教師や学校との子供の頃の経験のために威圧を感じるかもしれない。さらに他の両親は、教師に自分の方法を教えるのは無礼だと信じているかもしれない。
- ・ 両親が能力を発揮できると感じることは、他にも課題がある。親は子供のことをこれまで以上に認識し、教育しているが、これまで以上に脆弱である。最初の数年間（子どもが生まれる前を含む）に子どもの発達が重要視されていることから、両親はより複雑な仕事に直面する。彼らは子供を安全かつ幸せに保つ責任があるだけでなく、脳の発達や子供の社会的、感情的、身体的、言語的発達を刺激する役割も担っている。
- ・ 今日、両親は以前の世代の親よりも多くの決定を下す必要がある。彼らは医療と予防接種、教育用品を購入すること、最高の育児を見つけることについて決定する必要がある。これらの責任の増加に伴い、多くの親が育児スキルの低下を経験している。
- ・ 家族に関するすべての情報を肯定するだけで、子どもと家族はパートナーシップをより平等にすることができる。
- ・ 家族は子供と家族の歴史を知っており、家族は彼らの希望、計画、目標を通じて子供の未来に影響を与える。彼らは、家族や文化の信念や実践、子供の気質、性格、習慣を知っている。家族は、子供たちが各家族とどのような関係を持っているかを含めて、子供の直系家族と拡張家族のメンバーを知っている。
- ・ 家族が知っている特定の情報をいくつか見ていく・・・
 - ・ 子供がどのように家族に入ったか
 - ・ 子供の健康歴
 - ・ 子供の生活の中で重要な出来事
 - ・ 子供の人生における重要な人々と関係
- ・ 以下を含む子供の将来への希望、

- ・家族の計画、目標、夢

- ・ 以下を含む子供の文化や家族の慣習
 - ・ 育児スタイル
 - ・ 教育、学習、規律に関する信念
 - ・ 子供に関連する価値観、信念、期待
 - ・ 介護に関する実践：食事、ドレッシング、入浴、健康、睡眠
 - ・ 転移を中心とした実践：hellos と good-byes、分離
 - ・ 出来事に関連する重要な出来事や慣習
 - ・ 家族と子供のコミュニケーションスタイル
 - ・ 子供の文化の名前

- ・ 以下を含めた子供の気質、特徴、および癖
 - ・ 子どものコミュニケーションのユニークなスタイル
 - ・ 子供の好き嫌い
 - ・ 異なる経験にどのように反応するか
 - ・ 子供が快適に感じることを助けること
 - ・ 子供に不安やストレスを与えること
 - ・ 子どもの感情を表現する方法
 - ・ 子供の摂食、睡眠、自己慰め、トイレの習慣

以下を含めた子供の家族および親戚

- ・ 子供の家族のメンバーはどこに住んでいるか、子供はどれくらい頻繁にそれを見ているか、子供との関係の性質
- ・ 家族の経験、情報、希望、そして信念を真に認識することによって、教師は家族と学び、聞いて、パートナーとなる。
- ・ 家族の専門知識に対する教師の尊敬の成長は、家族のエンパワメントのための自然な触媒である。



SUPPORTING PARENT CONFIDENCE AND EMPOWERMENT

親の信頼と支持を支える



- ・ 教師は家族のエンパワメント感覚については責任を負わないが、成長できる状況を作り出すのに役立つ。
- ・ アイオワ州のアーリーアクセスプログラムは、子育ての重要性と家族の意思決定における自信と有効性について家族が明確に理解できるよう支援する役割を担っている（アイオワ・スクリプト・チーム 2004）。
- ・ これらの提供者は、援助慣行の使用に熟練しており、彼らが家族の救助者ではないことを理解している。家族が自分の能力や能力を身につけてうまく利用するのを支援する
 - ・ 家族が自分の選択や決定を下すのを助ける
 - ・ 家族の意思決定を積極的に支援する
 - ・ 家族の判断を中断する
 - ・ 家族を助ける未来を計画し、計画する
 - ・ 家族が非公式かつ正式な支援のコミュニティと相互依存することを支援する
 - ・ 成果を上げるために家族を信用する
- ・ 家族のために救助や援助をすることなく、効果的な援助活動を展開することは難しい。
- ・ 家族との専門的な境界を判断するのは難しいが乗り越えるのは簡単。子供と一緒に働くことについて忘れるべきではない。子供たちは自分自身のためによく学び、自信を持てる。これは、すべての年齢の人々に当てはまる。
- ・ 子どもがはしごを登ることができないときは、聞き取り、励まし、情報、および選択肢を提供するが、私たちは子供がはしごを登るためのイニシアティブを取らせるようにする。
- ・ 両親が子供の食べることについて不満を感じる時は、聞き取り、励まし、情報、選択肢を提供することができるが、いつ、どのように進めたいかを理解できるようにする。
- ・ 他人のために行うことが簡単に見えるても、援助される人々が自分自身ですることができる時が有益で力強いものである。
- ・ 家族へのアプローチは、強みに基づいたパートナーシップの一部である。

- ・ 全米幼児教育協会（NAEYC）の家族婚約に関する文献レビューによれば、「**家族と子供の早期幼児教育プログラム**の間に強いパートナーシップが存在すると、**家族関係が生まれる**」（Halgunseth et al. 2009、3）。
- ・ ストレングスペースの関係と実践は、赤字に集中するのではなく、強みを発揮するときに人々がより効果的に成長し、関与するという考え方に基いている。
- ・ 教師は「挑戦を活用するために力を必要としている」と言った。
- ・ 強みに基づくアプローチには、子供、家族、地域社会の強みを認識し、それを含む政策、方法、戦略が含まれる。
- ・ 問題に焦点を当てた赤字モデルとは異なり、強さに基づいたアプローチは、子どものための教育計画の策定に家族を巻き込む積極的なパートナーシップを提供する（Children's Bureau 2008）。
- ・ 両親が能力を発揮できるように支援することは、彼らとその家族にとって生涯の贈り物となる。
- ・ 親は教師であり、何百もの方法で子どもを擁護している。幼い子供の教師や擁護者としての彼らの重要な役割を理解しようとする多くの家族は、家族や子供の学校や地域社会で何年もリーダーシップを発揮し続けている。

Reflecting on Supporting Parent Confidence and Empowerment
親の信頼とエンパワメントを支援することを振り返る

- ・ 前のセクションでは、教師が親の自信と子どものための効果的な意思決定の支援方法を見ていく。
- ・ あなたが過去 1 ヶ月間に家族と一緒にしたことを考えてみよう。
- ・ 親のエンパワメントをサポートしている方法の例はあるか？
- ・ リストを見て、あなたは家族の信頼とエンパワメントをサポートする新しい方法を考えることができるか？
- ・ 同僚や他の学生と話し合う。



Teacher Knowledge and Expertise
教師の知識と専門知識



- ・ 効果的な家族 - 教師のパートナーシップには、親と教師の両方の専門知識が必要である。
- ・ しかし、しばしば、教師の知識は当然のものであり、識別、認知、評価されていない。家族と同様、教師は家族と教師のパートナーシップに大きな専門知識をもたらす。ほとんどの教師は、教育と訓練だけでなく、経験もある。経験は彼らに時間の経過とともに多くの異なる子供を見る機会を与え、子供の学習スタイル、行動、気質の広範な連続性について知ることになる。
- ・ 授業、ワークショップ、会議、プロフェッショナルなミーティング、そしてリフレクティブな実践を通して、児童発達、カリキュラムの開発、子どもの観察、評価に関する年齢や段階についての情報を提供する、児童発達、教育教授法、両親は自分の子供のことを最もよく知っているが、教師は一般的に子供のことをよく知っている。

Educator Expertise
教育者の専門知識

- ・ 教育者として、あなたは子供についてどのような知識と情報を持っているか？
- ・ あなたのトレーニング、教育、経験について考えてみてください。
- ・ 何を学んだ？
- ・ 教育者としてあなたの特別な知識のリストを作成してください。
- ・ 同僚や他の学生とあなたのリストを共有しましょう。

- ・ 教育者が子供について知っていることのいくつかの例を以下に示す。
- ・ 教育者は、子供の発達を知っている
 - ・ 身体的、社会的/感情的、認知的、創造的、言語発達を含む、通常は子供が発達する段階
 - ・ さまざまな年齢の子供に何を期待するか
 - ・ 子供の挑戦的な行動の理由、さまざまな子供たちの経験に基づいて適切に対応する方法
 - ・ 子供のグループで見られる気質の多様性と気分の異なる作業の方法
- ・ グループで子供と一緒に活動する方法
 - ・ 子供たちのグループへの期待、食事、グループ時間、昼寝、出会いと分かれ、移行、オープン・プレイなどのグループ設定で、子どもの行動を管理する方法

- ・子どもたちの学習環境を設計する方法
- ・子どもがコミュニケーションを学ぶのを手助けする方法他の人との問題を解決する
- ・子どもの発達とニーズを評価する方法
- ・子どもを観察、文書化、反映する方法子どもの学習を足場かけするカリキュラムや経験をデザインするための調査



SHARING INFORMATION THROUGH TWO-WAY COMMUNICATION

双方向コミュニケーションを通じた情報の共有



- ・ コミュニケーションは情報の共有を通じてパートナーシップを構築し、同様に重要なのは、人々が本当にお互いに耳を傾けて話す機会があるときに発達するつながりの信頼、理解、感覚である。
- ・ 真の傾聴は、スピーカーに自分の考えや経験を反映させる機会を与え、聞き手に話し手をより深く知る機会を与える。
- ・ 伝統的に、子どもの開発プログラムにおける情報共有は、教師やプログラムから家族に至るまで、しばしば一方向であった。
- ・ 児童養成プログラムは、家族が子どもを理解し、育成し、教育する新しい方法を学ぶのに役立つ、多くの異なる情報資源にアクセスすることができる。親の教育は重要なサービスである。しかし、家族中心のケアでは、家族と教師の両方に情報を提供する必要がある。双方向コミュニケーションは、家族があなたから学ぶことができるように、あなたに家族から学ぶ機会を与える。
- ・ 双方向コミュニケーションは、家族とのあらゆる交流において起こり得る。情報が教師と家族の間を行き来することができるように、既存のシステムを変革することは、教師やプログラムのための刺激的で挑戦的な仕事となり得る。
- ・ ほとんどのプログラムには、毎日のチェックインや子供の情報フォームなど、家族からの情報を受け取るための既存のチャンネルが既にある。
- ・ どのようなコミュニケーションにおいても双方向の対話を実現するには、いくつかのレベルのサポートが必要である。
- ・ コミュニケーションスキルとそのコミュニケーションのための時間と空間を創出するシステムの両方が求められる。例えば、教師は双方向コミュニケーション戦略の訓練を必要とするので、コミュニケーション能力は必要である。
- ・ 彼らはまた、物流支援を必要とする：
例えば、スケジュールの時間、会う場所、またはニュースレターを書くためのコンピュータ。
- ・ これには、家族との定期的な会話ができるように、インタラクティブな家族会議、ミーティング、家庭訪問、適切な教室スタッフの計画と実施のための支払い時間などの管理サポートが必要である。
- ・ あなたと情報を共有する家族を招待するような方法があなたのリストに終わったか？
- ・ 情報フォーム？毎日のチェックイン？自宅訪問？保護者会？掲示板？インタラクティブなジャーナル？ニュースレター？非公式のメモやテキスト？Eメール？電話？
- ・ この本を通して、教師やプログラムによって開発された多くのアイデアが見つかるだろう。
- ・ これらのアイデアは、プログラム内の家族との双方向コミュニケーションをどのように開くのが最適かを知ることが奨励するものもある。

Two-Way Communication

双方向通信

- ・ 家族からの情報を（書面でも口頭でも）受け取ることができるすべての方法を列記してください。
- ・ あなたが持っていたいと思っているが、今受けていない子供や家族についての情報はありますか？
- ・ どのような情報をお持ちになりたいですか？
- ・ 家族とのより多くの双方向コミュニケーションを創出するいくつかの方法を考えてみましょう。
- ・ 同僚や他の学生とあなたの答えを話し合う。